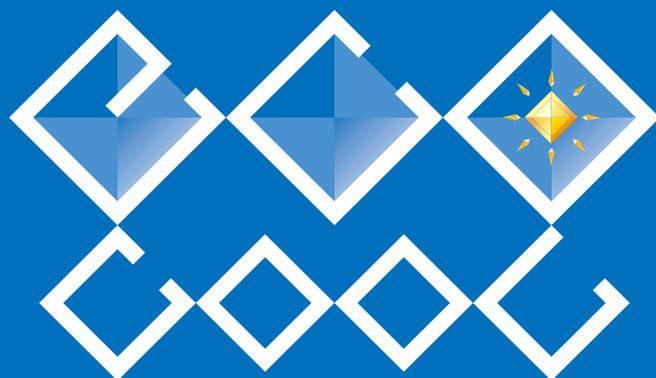


CO<sub>2</sub>排出削減推進  
カーボンオフセット  
対象商品



ECO-COOL



遮熱塗料  
エコクールシリーズ

大日本塗料株式会社

# 光を反射し、熱を放射する塗料 「エコクールシリーズ」

ご存知ですか？

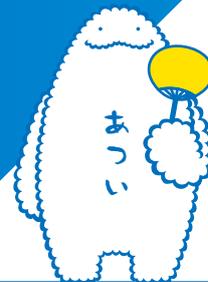
夏に室内空調の設定温度を1℃高くすることで、消費電力は約13% (約70W) の削減になります。(環境省のHPより引用)

しかしながら、実際のところ真夏に室内空調の温度を1℃高く設定するのは、決してやさしいことではありません。

そこで、日差しを受ける建物を遮熱する「エコクールシリーズ」塗装システムを開発しました。

「エコクールシリーズ」は、優れた遮熱・断熱性能を基本ベースとして、耐久性・耐候性・環境対応・色彩において、さまざまなバリエーションをご用意しています。

外気の熱を防ぐことにより、無理なく室内空調の温度を1℃高く設定でき、電気代の節約に繋がる、人と環境にやさしい快適な生活空間をご提案します。



## ◆ 特長

### 豊富なカラー バリエーション

日本塗料工業会発行の標準色見本帳※から自由にお選び頂けます。

(ただし色は近似色になります)

※つや消しは除きます。

### 優れた 省エネルギー効果

光の高反射・熱の高放射による優れた遮熱効果があり、建物や構造物の温度上昇を抑制し、冷房コストを節約します。

### セラミック配合で 低汚染性を発揮

エコクールシリーズは、セラミック配合により汚れ防止機能を発揮します。防かび・防藻性に優れ、遮熱効果を長期間にわたり持続させます。

### 幅広い下地適性

鉄などの金属系素材から、コンクリートなどの無機系素材まで、幅広く塗装できます。

### ハイレベルな 長期耐久性・耐候性

エコクールシリーズの塗装システムは、長期耐久性・耐候性に優れ、被塗物を長期間保護します。

### カーボンオフセット 対象商品

エコクールシリーズを使用すると、日本政府によるCO<sub>2</sub>排出量の削減目標に貢献できます。(弊社からカーボンオフセット証明書を発行します)

## ◆ 用途

### 適用部位

- 一般住宅の屋根・壁面
- ビル、マンションの屋上・壁面
- 工場、倉庫の屋根・壁面
- 学校関連施設の屋上・壁面
- プラント・大型構造物 など



## ◆実績



◀マンダレー国際空港 (ミャンマー)



地球シミュレータ棟 (横浜) ▶

## ◆商品体系

### 上塗り

区分	商品名	一般名称	容量	色	希釈剤
弱溶剤	エコクールスマイルF	弱溶剤形ふっ素樹脂系遮熱塗料	15kgセット(主剤13.5kg 硬化剤1.5kg) 4kgセット(主剤3.6kg 硬化剤0.4kg)	各色	塗料用シンナー
	エコクールスマイルSi	弱溶剤形シリコン樹脂系遮熱塗料	15kgセット(主剤13.5kg 硬化剤1.5kg) 4kgセット(主剤3.6kg 硬化剤0.4kg)	各色	塗料用シンナー
	エコクールスマイルU	弱溶剤形ウレタン樹脂系遮熱塗料	15kgセット(主剤13.5kg 硬化剤1.5kg)	各色	塗料用シンナー
水性	エコクールアクアSi	水性シリコン樹脂系遮熱塗料	15kg、4kg	各色	水道水

### 下塗り

#### ■無機系素材 (新生屋根・コンクリート・モルタル・スレートなど)

区分	商品名	一般名称	容量	色	希釈剤
弱溶剤	マイティー万能エポシーラー 白	弱溶剤形二液オールインワンシーラー	15kgセット(主剤13.5kg 硬化剤1.5kg) 4kgセット(主剤3.6kg 硬化剤0.4kg)	白	塗料用シンナー又は 塗料用シンナーA
水性	マイティー万能水性シーラー 白(新)	水系二液オールインワンシーラー	15kgセット(主剤14kg 硬化剤1kg)	白	水道水
弱溶剤	エコクールスマイルシーラー※1	弱溶剤形二液遮熱シーラー JIS用	15kgセット(主剤13.5kg 硬化剤1.5kg)	白	塗料用シンナー又は 塗料用シンナーA
水性	DNT断熱テクト	遮熱用常温架橋形水性微弾性下地調整材	12kg	白	水道水

#### ■一般金属面 (トタン屋根・鋼板・ガルバリウム鋼板など)

区分	商品名	一般名称	容量	色	希釈剤
弱溶剤	エポオールスマイル遮熱白 新※2	弱溶剤形二液遮熱プライマー	18kgセット(主剤16.2kg 硬化剤1.8kg)	白	塗料用シンナー
	エコクールスマイルHB下塗	下塗・中塗兼用 金属屋根遮熱プライマー	12kgセット(主剤10.8kg 硬化剤1.2kg)	白	塗料用シンナー

※1「エコクールスマイルシーラー」はJIS K 5675専用下塗り塗料です。

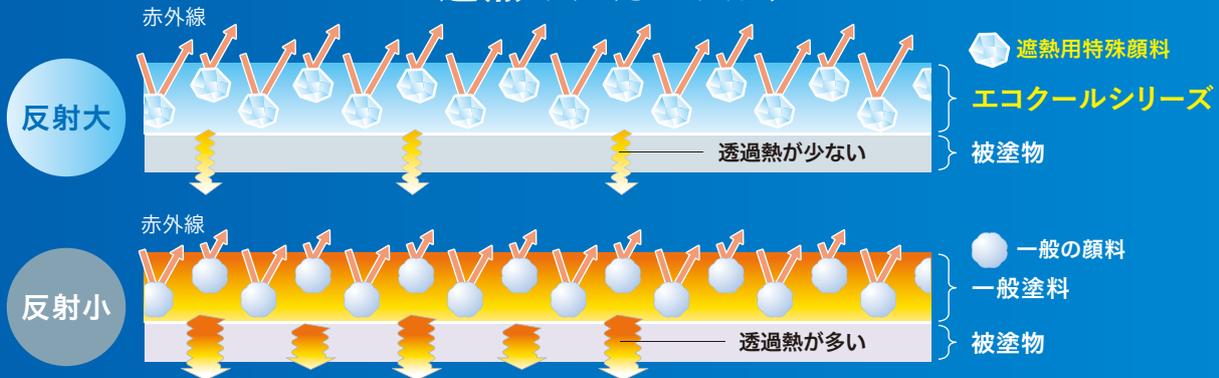
※2「エポオールスマイル遮熱白 新」はJIS K 5675専用下塗り塗料としてもご使用頂けます。

「エコクールスマイルSi」の標準色5色 (ECOファインブラック・ECOアースブラウン・ECOアーモンドレッド・ECOアンティークグリーン・ECOフォレストグリーン) は、  
「JIS K 5675 2種 2級」取得品です。



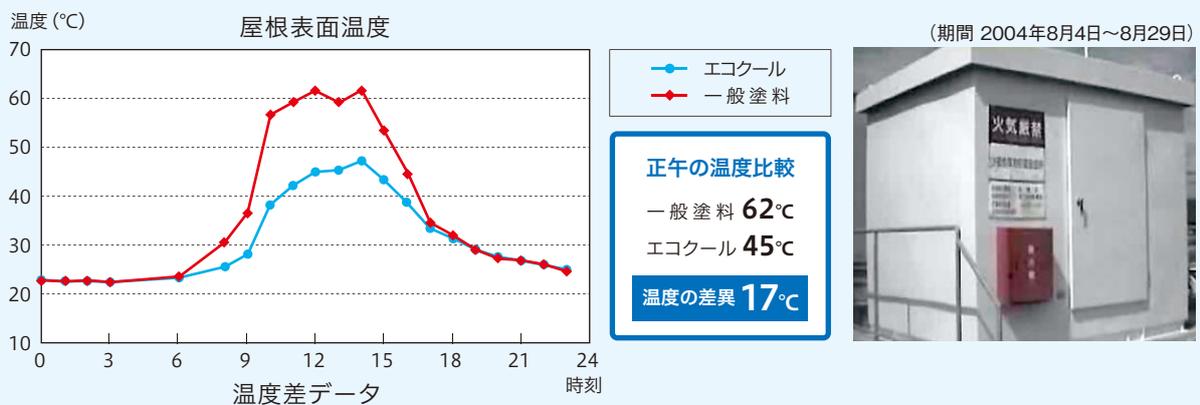
エコクールシリーズに配合されている遮熱用特殊顔料は、一般の顔料よりも日射エネルギー（赤外線）を多く反射するため、塗膜に吸収される日射エネルギーの量を低減することができ、被塗物の温度上昇を抑制する高い効果があります。これは室内温度の低減、つまり電気代の節約に繋がります。

## 遮熱のメカニズム



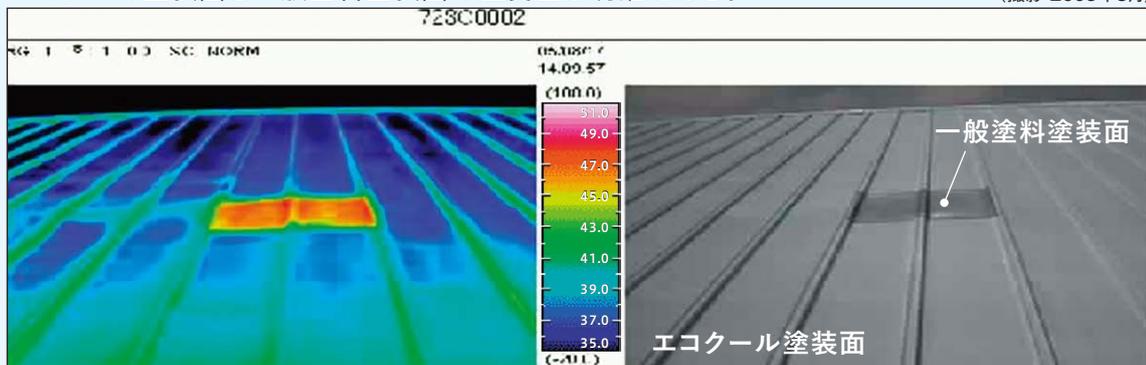
## エコクールシリーズのデータで見る遮熱効果

### エコクールを塗装した 通信用テナボックス（屋根面）での表面温度比較

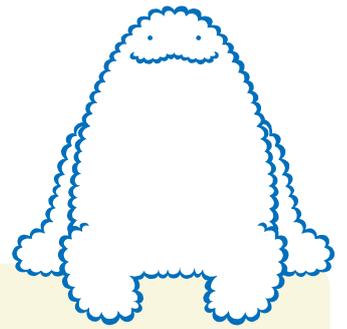


### エコクールを塗装した 体育館（屋根面）のサーモグラフィ比較

エコクール塗装面と一般塗料塗装面の温度差は明確である。 (撮影 2005年8月)

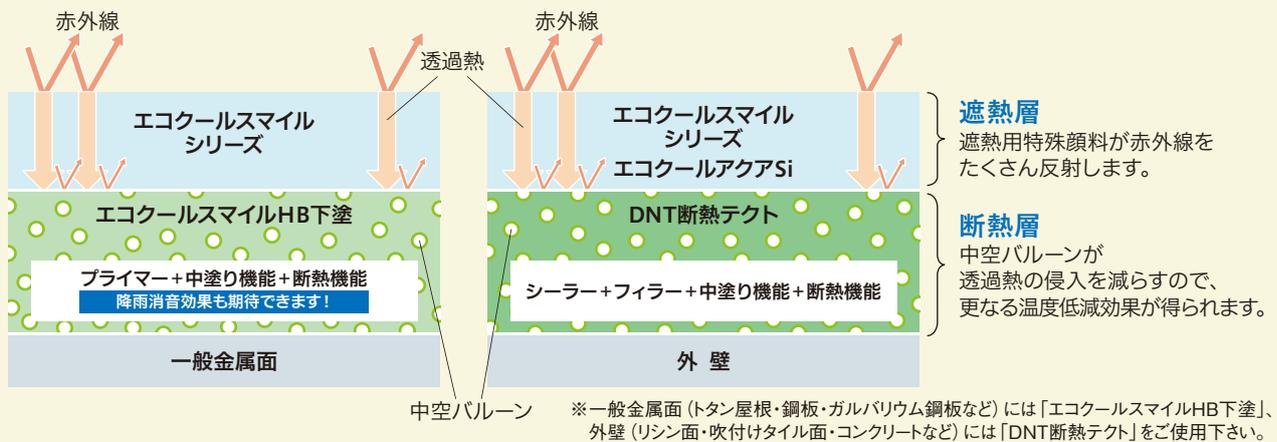


熱画像写真



## 遮熱に断熱機能をプラス!

中空バルーンを配合した「エコクールスマイルHB下塗」や「DNT断熱テクト」を下塗りに使用することで、遮熱だけでなく断熱効果も得ることができます。遮熱・断熱効果により、塗膜に吸収される日射エネルギーを大幅に低減できるため、より電気代の節約が期待できます。



### エコクールシリーズの施工例



# Color Sample

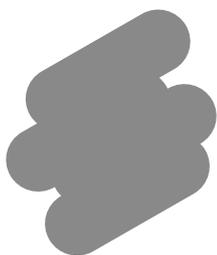
## 表の読み方

色名: (色の名前)

日射反射率: 黒字が全波長域の日射反射率、  
( ) 内が近赤外波長域の日射反射率

明度: 色の明るさの数値

## 屋根提案色



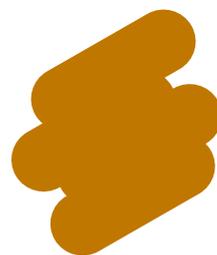
色名 **ECOアイスグレー**  
日射反射率: 50.3% (80.3%)  
明度: 58.0



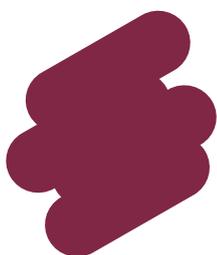
色名 **ECOファインブラック (旧遮熱黒)**  
日射反射率: 32.6% (68.6%)  
明度: 30.0



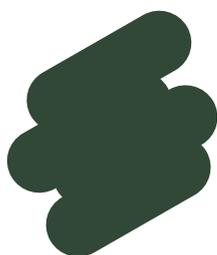
色名 **ECOアースブラウン**  
日射反射率: 34.4% (70.9%)  
明度: 32.0



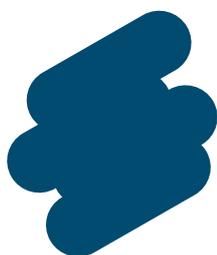
色名 **ECOハニーブラウン**  
日射反射率: 53.6% (81.8%)  
明度: 55.0



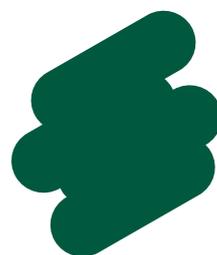
色名 **ECOアーモンドレッド**  
日射反射率: 40.5% (78.4%)  
明度: 35.0



色名 **ECOアンティークグリーン**  
日射反射率: 36.3% (72.7%)  
明度: 37.0

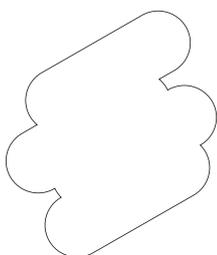


色名 **ECOアカデミーブルー**  
日射反射率: 36.1% (68.8%)  
明度: 42.0



色名 **ECOフォレストグリーン**  
日射反射率: 35.9% (70.1%)  
明度: 36.0

## 外装提案色



色名 **ECOアイスホワイト**  
日射反射率: 91.0% (91.3%)  
明度: 96.5



色名 **ECOミルククリーム**  
日射反射率: 76.3% (87.7%)  
明度: 87.0



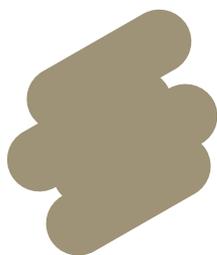
色名 **ECOライトベージュ**  
日射反射率: 76.0% (87.8%)  
明度: 87.0



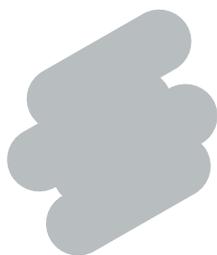
色名 **ECOカシミアベージュ**  
日射反射率: 54.3% (84.6%)  
明度: 64.0



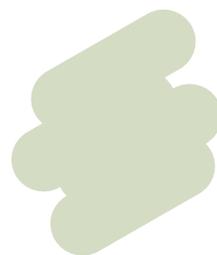
色名 **ECOライトピーチ**  
日射反射率: 68.8% (81.3%)  
明度: 80.0



色名 **ECOライトカーキ**  
日射反射率: 53.3% (84.5%)  
明度: 62.0



色名 **ECOサンドグレー**  
日射反射率: 60.7% (80.2%)  
明度: 73.0



色名 **ECOピースグリーン**  
日射反射率: 67.5% (80.4%)  
明度: 82.0

※上記色見本は印刷のため、実物とは色相とつやが多少異なります。

※本塗料は、遮熱効果を高めるために特殊顔料を使用しており、光源の種類 (特に蛍光灯など) によって条件等色を起こします。

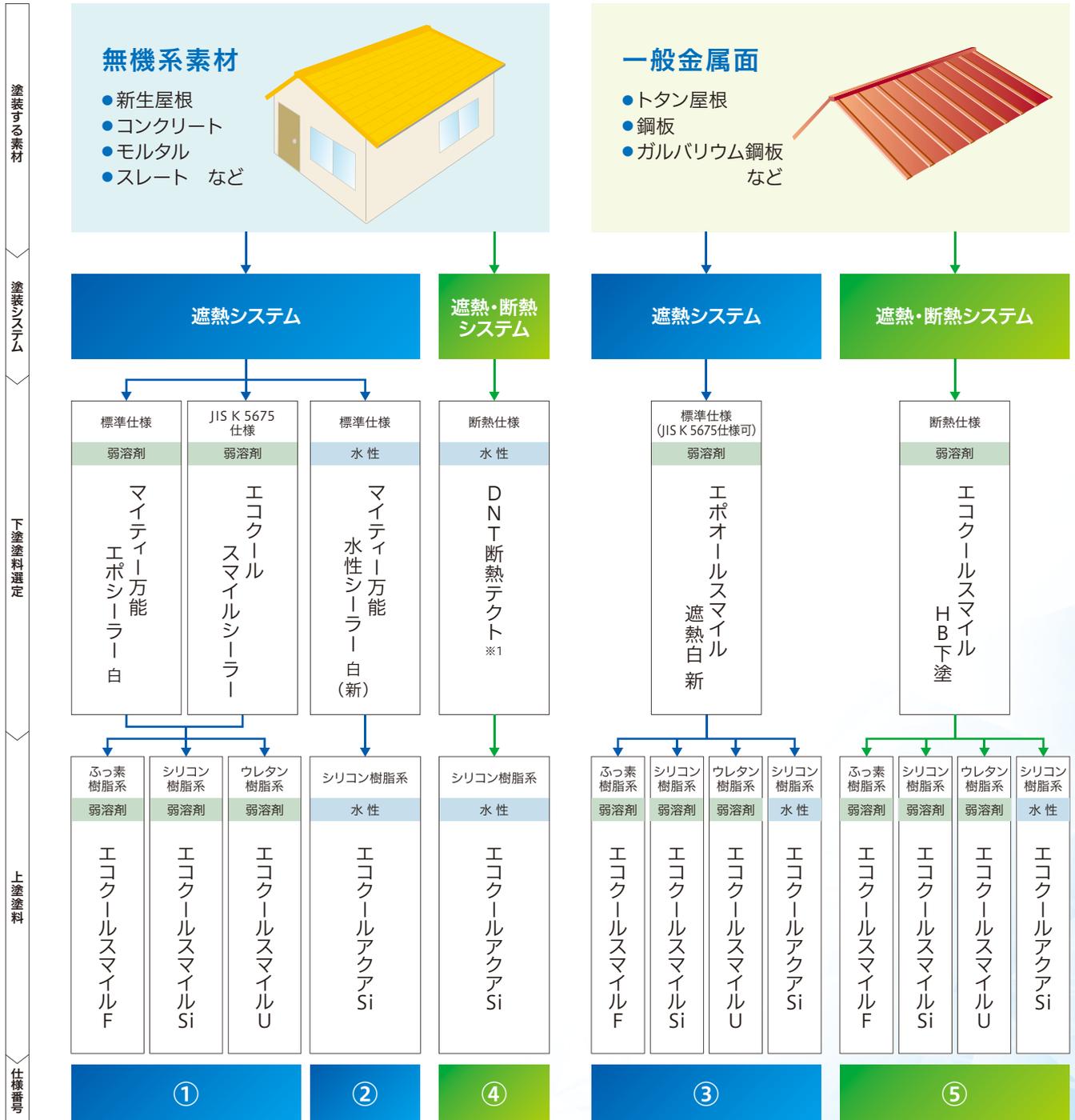
特に、ECOファインブラックは、黒系統色でありながら遮熱効果を高める製法を採用していますので、青味の強い黒になります。  
実際の色は、塗板見本などで予め仕上がりを確認して下さい。

※「エコールスマイルSi」の標準色5色 (ECOファインブラック・ECOアースブラウン・ECOアーモンドレッド・ECOアンティークグリーン・ECOフォレストグリーン) は、  
「JIS K 5675 2種 2級」取得品です。

# ◆ 遮熱・断熱塗装フローチャート

Point

エコクールシリーズは、下塗塗料を変えることで、無機系素材にも一般金属面にも塗装することができます。また、断熱効果のある下塗塗料を用いることで、「遮熱・断熱システム」を組むことができます。



※1 DNT断熱テクトは外壁のみ塗装可能です。屋根には塗装できません。

## 塗り替え年数

部材や施工場所によって異なりますが、美観、性能、塗り替え経済性からおよその塗り替え年数を示しました。(同一素材内の比較としてご利用下さい)

区分	樹脂系	商品名	塗り替え年数(グラフ)					
			2	4	6	8	10	15
弱溶剤	ふっ素	エコクールスマイルF	[Graph showing durability up to 15 years]					
	シリコン	エコクールスマイルSi	[Graph showing durability up to 10 years]					
	ウレタン	エコクールスマイルU	[Graph showing durability up to 6 years]					
水性	シリコン	エコクールアクアSi	[Graph showing durability up to 10 years]					

# ◆ 標準塗装仕様 (塗り替え) (本カタログ掲載以外の仕様書については別途お問い合わせ下さい。)

## 遮熱システム

### 1.無機系素材 (新生屋根・コンクリート・モルタル・スレートなど)

仕様番号①

工程	商品名	塗り回数 (回)	色相	混合比率 (重量比)	希釈率 (%) (重量比)	塗装方法	標準使用量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗装間隔 (20℃)
下地調整	1.高圧洗浄機 [圧力15MPa(150kg/cm <sup>2</sup> )以上]を用いて、汚れ・脆弱な層、その他有害な付着物を除去する。 2.砂塵、ゴミ、油脂分などの付着物をワイヤブラシ、サンドペーパー、ウエス、シンナーなどで除去し、乾燥した清浄な面とする。							乾燥後
下塗り	マイティー万能エポシーラー 白	1~2	白	主 剤 90部 硬化剤 10部	5~10	刷毛 ローラー	0.10	16時間以上※1 7日以内
上塗り	ふっ素の場合	2	各色	主 剤 90部 硬化剤 10部	5~10	刷毛 ローラー	0.11	16時間以上※2 7日以内
	シリコンの場合	2	各色	主 剤 90部 硬化剤 10部	5~10	刷毛 ローラー	0.11	16時間以上※2 7日以内
	ウレタンの場合	2	各色	主 剤 90部 硬化剤 10部	5~10	刷毛 ローラー	0.11	16時間以上※2 7日以内

(注1) 吸い込みの著しい素材の場合は、下塗り工程を2回行って下さい。

(注2) 標準使用量は、被塗物の形状や塗装方法などにより増減することがあります。

(注3) 低温塗装時には、下塗り塗装後に十分な乾燥時間をとって下さい。

(注4) JIS K 5675取得品を用いる場合は、下塗りを「エコールスマイルシーラー」にして下さい。

※本カタログ値は、製品を適正にご使用頂くための条件の代表値を記載したものです。記載条件以外の場合は、事前にお問い合わせ下さい。

※1 屋根面での歩行可能な最小時間です。

歩行部以外の塗り重ね最小時間は4時間です。

※2 屋根面での歩行可能な最小時間です。

歩行部以外の塗り重ね最小時間は2時間です。

### 2.無機系素材 (新生屋根・コンクリート・モルタル・スレートなど) 水性仕上げの場合

仕様番号②

工程	商品名	塗り回数 (回)	色相	混合比率 (重量比)	希釈率 (%) (重量比)	塗装方法	標準使用量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗装間隔 (20℃)
下地調整	1.高圧洗浄機 [圧力15MPa(150kg/cm <sup>2</sup> )以上]を用いて、汚れ・脆弱な層、その他有害な付着物を除去する。 2.砂塵、ゴミ、油脂分などの付着物をワイヤブラシ、サンドペーパー、ウエス、シンナーなどで除去し、乾燥した清浄な面とする。							乾燥後
下塗り	マイティー万能水性シーラー 白 (新)	1~2	白	主 剤 14部 硬化剤 1部	0~10	刷毛 ローラー	0.10~0.12	16時間以上※1 7日以内
上塗り	エコールアクアSi	2	各色	—	5~10	刷毛 ローラー	0.11	16時間以上※2 1ヶ月以内

(注1) 吸い込みの著しい素材の場合は、下塗り工程を2回行って下さい。

(注2) 標準使用量は、被塗物の形状や塗装方法などにより増減することがあります。

(注3) 低温塗装時には、下塗り塗装後に十分な乾燥時間をとって下さい。

(注4) JIS K 5675取得品を用いる場合は、下塗りを「エコールスマイルシーラー」にして下さい。

※本カタログ値は、製品を適正にご使用頂くための条件の代表値を記載したものです。記載条件以外の場合は、事前にお問い合わせ下さい。

※1 屋根面での歩行可能な最小時間です。

歩行部以外の塗り重ね最小時間は4時間です。

※2 屋根面での歩行可能な最小時間です。

歩行部以外の塗り重ね最小時間は2時間です。

### 3.一般金属面 (トタン屋根・鋼板・ガルバリウム鋼板など)

仕様番号③

工程	商品名	塗り回数 (回)	色相	混合比率 (重量比)	希釈率 (%) (重量比)	塗装方法	標準使用量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗装間隔 (20℃)
下地調整	1.高圧洗浄機 [圧力15MPa(150kg/cm <sup>2</sup> )以上]を用いて、汚れ・脆弱な層、その他有害な付着物を除去する。 2.砂塵、ゴミ、油脂分などの付着物をワイヤブラシ、サンドペーパー、ウエス、シンナーなどで除去し、乾燥した清浄な面とする。							乾燥後
下塗り	エポオールスマイル遮熱白 新	1	白	主 剤 90部 硬化剤 10部	0~10	刷毛 ローラー	0.17	16時間以上 14日以内
上塗り	ふっ素の場合	2	各色	主 剤 90部 硬化剤 10部	5~10	刷毛 ローラー	0.11	16時間以上※ 7日以内
	シリコンの場合	2	各色	主 剤 90部 硬化剤 10部	5~10	刷毛 ローラー	0.11	16時間以上※ 7日以内
	ウレタンの場合	2	各色	主 剤 90部 硬化剤 10部	5~10	刷毛 ローラー	0.11	16時間以上※ 7日以内
	水性シリコンの場合	2	各色	—	5~10	刷毛 ローラー	0.11	16時間以上※ 1ヶ月以内

(注1) 素地露出部は、下塗りの補修塗装を行って下さい。

(注2) 標準使用量は、被塗物の形状や塗装方法などにより増減することがあります。

(注3) 低温塗装時には、下塗り塗装後に十分な乾燥時間をとって下さい。

(注4) 屋根に塗装する場合は、早めに塗装を終了し、結露を避けて下さい。

(注5) 「エポオールスマイル遮熱白 新」は、JIS K 5675取得品の下塗りとしても使用可能です。

※本カタログ値は、製品を適正にご使用頂くための条件の代表値を記載したものです。記載条件以外の場合は、事前にお問い合わせ下さい。

※屋根面での歩行可能な最小時間です。

歩行部以外の塗り重ね最小時間は2時間です。

## 遮熱・断熱システム

## 1.外壁 (リシン面・吹付けタイル面・コンクリートなど)

仕様番号④

工程	商品名	塗り回数 (回)	色相	混合比率 (重量比)	希釈率 (%) (重量比)	塗装方法	標準使用量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗装間隔 (20℃)
下地調整	1.高圧洗浄機 [圧力15MPa(150kg/cm <sup>2</sup> )以上]を用いて、汚れ・脆弱な層、その他有害な付着物を除去する。 2.砂塵、ゴミ、油脂分などの付着物をワイヤブラシ、サンドペーパー、ウエス、シンナーなどで除去し、乾燥した清浄な面とする。							乾燥後
下塗り	DNT断熱テクト	1	白	—	0~6	刷毛 ローラー	0.50~1.00	16時間以上 7日以内
上塗り	エコクールアクアSi	2	各色	—	5~10	刷毛 ローラー	0.11	2時間以上 1ヶ月以内

(注1)旧塗膜がない場合は、DNT断熱テクトを塗装する前に、「水性マイティーシーラーマルチ」又は「マイティー万能水性シーラー クリヤー(新)」を塗装して下さい。

(注2)DNT断熱テクトは外壁のみ塗装可能です。屋根には塗装できません。

(注3)標準使用量は、被塗物の形状や塗装方法などにより増減することがあります。

(注4)低温塗装時には、下塗り塗装後に十分な乾燥時間をとって下さい。

※本カタログ値は、製品を適正にご使用頂くための条件の代表値を記載したものです。記載条件以外の場合は、事前にお問い合わせ下さい。

## 2.一般金属面 (トタン屋根・鋼板・ガルバリウム鋼板など)

仕様番号⑤

工程	商品名	塗り回数 (回)	色相	混合比率 (重量比)	希釈率 (%) (重量比)	塗装方法	標準使用量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗装間隔 (20℃)	
下地調整	1.高圧洗浄機 [圧力15MPa(150kg/cm <sup>2</sup> )以上]を用いて、汚れ・脆弱な層、その他有害な付着物を除去する。 2.砂塵、ゴミ、油脂分などの付着物をワイヤブラシ、サンドペーパー、ウエス、シンナーなどで除去し、乾燥した清浄な面とする。							乾燥後	
下塗り	エコクールスマイルHB 下塗	1	白	主 剤 90部 硬化剤 10部	0~10	刷毛 ローラー	0.15	16時間以上 7日以内	
上塗り	ふっ素 の場合	エコクールスマイルF	2	各色	主 剤 90部 硬化剤 10部	5~10	刷毛 ローラー	0.11	16時間以上* 7日以内
	シリコン の場合	エコクールスマイルSi	2	各色	主 剤 90部 硬化剤 10部	5~10	刷毛 ローラー	0.11	16時間以上* 7日以内
	ウレタン の場合	エコクールスマイルU	2	各色	主 剤 90部 硬化剤 10部	5~10	刷毛 ローラー	0.11	16時間以上* 7日以内
	水性シリコン の場合	エコクールアクアSi	2	各色	—	5~10	刷毛 ローラー	0.11	16時間以上* 1ヶ月以内

(注1)素地露出部は、下塗りの補修塗装を行って下さい。

(注2)標準使用量は、被塗物の形状や塗装方法などにより増減することがあります。

(注3)低温塗装時には、下塗り塗装後に十分な乾燥時間をとって下さい。

(注4)屋根に塗装する場合は、早めに塗装を終了し、結露を避けて下さい。

※本カタログ値は、製品を適正にご使用頂くための条件の代表値を記載したものです。記載条件以外の場合は、事前にお問い合わせ下さい。

※屋根面での歩行可能な最小時間です。  
歩行部以外の塗り重ね最小時間は2時間です。

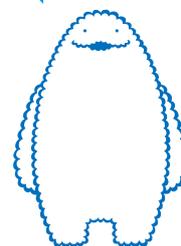
# 地球温暖化及び ヒートアイランド問題に 関しての行政の取組み

## 環境省

エコクールシリーズは  
カーボン・オフセット対象商品です。

### カーボン・オフセット

企業の削減活動への取り組みだけではどうしても削減できない温室効果ガス排出量の全部または一部を、排出量に見合った温室効果ガスの削減活動に投資すること等により、埋め合わせるという考えです。(環境省のHPより引用)  
私たち大日本塗料は、「エコクールシリーズ」の製造時に排出するCO<sub>2</sub>に応じた排出削減量(クレジット)を取得することで、CO<sub>2</sub>削減に貢献します。



### 「チャレンジ25」の制定・推進

京都議定書による日本の温室効果ガス6%削減の約束を達成する為、政府では「チームマイナス6%」を掲げ、幅広い団体企業個人グループが活動に参加し、地球温暖化防止に国民全てが一丸となって取り組む「国民運動」を推進してきました。

そして2009年9月、当時の鳩山総理大臣がニューヨークの国連気候変動サミットにおいて、わが国の目標として、温室効果ガス排出量を2020年までに1990年比で25%削減することを表明しました。政府ではこの目標を新たな指針とし、「チャレンジ25」を掲げる新しい国民運動を展開しています。

未来が変わる。  
日本が変わる。  
チャレンジ  
25  
私たち大日本塗料も「チャレンジ25」に参加しています。

### グリーン購入法

環境汚染などの深刻化を背景に、使い捨て型の社会や製品のあり方を根本から見直し、持続可能な循環型社会を構築していくことが最大の課題となっています。

グリーン購入法とは、購入の前に必要性を十分に考慮し、品質や価格だけでなく、環境負荷ができるだけ小さい製品やサービスを環境負荷の低減に努力している事業者から優先して購入する重要性に基いて制定された法律です。

#### 高日射反射率塗料の特定調達品目の基準

- ①明度L\*値が40.0以下の場合、近赤外線域における日射反射率が40.0%以上であること。  
明度L\*値が40.0を越え、80.0未満の場合は、近赤外線域における日射反射率(%)が明度L\*値以上であること。  
明度L\*値が80.0以上の場合、近赤外線域における日射反射率(%)が80.0%以上であること。
- ②JIS K 5675「屋根用高日射反射率塗料」の品質に適合すること。

エコクールシリーズは、環境省の制定したグリーン購入に基く特定調達品目の対象になります。

## 施工上の注意

### 【素地調整に関わる注意】

1. モルタルの養生は十分に行ってください。原則として3週間以上が適当です。含水率10%以下、pH10以下で塗装して下さい。
2. 旧塗膜の浮きや有害な付着物は、高圧洗浄機やワイヤブラシ、皮スキ、ケレン棒などで完全に除去してから塗装して下さい。処理が不十分な状態の塗装は、塗膜のはく離、つやの低下などの原因となります。(判定方法: 乾燥後ガムテープを貼り付け、強く引っ張って剥がし、素地が剥がれないことを確認して下さい。)
3. チョーキング面は、高圧洗浄(15MPa(150kg/cm<sup>2</sup>)以上)を入念に行い、劣化塗膜や粉化物を除去して下さい。
4. 水洗い後は、1日以上乾燥させて下さい。また素材表面が雨、露などで濡れている場合は、十分に乾燥してから塗装して下さい。乾燥が不十分な状態での塗装は、はく離、ふくれ、割れ、つやの低下などの原因になります。
5. さびの発生部ではワイヤブラシ、サンドペーパーなどで入念に除去を行ない、十分なケレンをして下さい。
6. ごみ、埃、砂、油、ワックスなどが付着している場合は、ハジキや付着不良の原因となりますので、完全に除去して下さい。
7. 旧塗膜に発生したカビ、藻などは必ず除去し、清浄な面として下さい。
8. 塗り替え工事の際、下地の浮きには事前に樹脂の注入を行なって下さい。

### 【塗装に関わる注意】

1. 結露しやすい地域や季節には塗装時間に注意し、早めに塗装を終えて十分な乾燥時間を確保して下さい。
2. 屋外での塗装の際は天候を確認し、降雨、降雪のおそれがある場合および強風時は塗装しないで下さい。
3. 本製品は外用用の建築塗料です。本来の用途以外に使用しないで下さい。
4. 飛散防止のため、必ず養生をして下さい。
5. 塗料は電動ミキサーを使用して十分に攪拌し、内容物を均一にして塗装して下さい。
6. 塗装後約24時間以内に乾燥不十分な状態で、降雨、結露が起こるおそれがある場合、または高湿度、低温になる場合、通風のない場合には、はく離、ふくれ、割れ、白化、シミなどが発生するおそれがありますので、塗装をしないで下さい。
7. 材料の付着した布やウエスなどは自然発火や引火の危険性があるため、廃棄するまで水につけておいて下さい。
8. 屋根面に塗装する場合は、上塗りの塗装間隔を16時間以上あけて下さい。
9. 屋外での塗装の際は、排気口、空気取入口などに養生を施し、揮発した溶剤分などが室内に入らないようご注意ください。
10. 吸い込みの激しい素材の場合は、下塗り工程を2回行なって下さい。
11. 塗装場所の気温が5℃以下、湿度が85%以上で結露のおそれがある場所、また換気の悪い場所では塗装しないで下さい。
12. 金属面で素地の露出がある部分については、下塗りの補修塗装を行なって下さい。
13. 下塗材には必ず指定の材料を使用して下さい。下塗材が未塗装であったり、他の材料を使用した場合、十分な遮熱効果が発揮できない場合があります。
14. 十分な塗膜性能を確保するため、標準使用量を守って塗装して下さい。適切仕様以外では色相が変化して見えたり、十分な隠れ性が得られなくなるおそれがあります。標準使用量を厳守して塗装して下さい。
15. 過剰な希釈をすると、本来のつやが出なくなる可能性がありますので、規定の希釈率を守って塗装して下さい。

### 【保存、保管に関する注意】

1. 塗料は開封後、一度に使いきるようにして下さい。止むを得ず保存し直す場合には、厳重に密閉した後、冷暗所で保管し、速やかに使い切ってください。
2. 屋外での塗料の貯蔵はしないで下さい。また、直射日光が当たらない場所で貯蔵して下さい。
3. 適切な保存方法では引火の心配はありませんが、極端な高温(50℃以上)の環境での保管は避けて下さい。

### 【色および日射反射率に関する注意】

1. 日射反射率は色相によって異なりますので、ご選定の際はご注意ください。
2. 掲載している反射率の数値は、下地の状態や塗装仕様・施工条件によって多少の幅を生じる場合がありますのでご注意ください。
3. この色見本帳の掲載色以外にも、調色対応が可能です。調色をご希望の場合は、日本塗料工業会発行の標準色見本帳からお選び頂き、塗板見本などで必ず色を確認して下さい。

### 【製品の情報について】

1. 安全衛生、法規についての情報が必要な場合には、安全データシート(SDS)をご参照下さい。
2. 規格表示、膜厚、乾燥時間、塗装間隔などの製品情報が必要な場合には、単品説明書(DK SYSTEM)をご参照下さい。
16. 旧塗膜の種類によっては溶剤などの影響で、塗膜が侵され、ふくれや縮みなどの異常が発生する場合があります。必ず旧塗膜の種類をご確認の上、塗装仕様をご検討下さい。
17. 塗装中及び乾燥中は、揮発した溶剤成分や蒸気を吸い込まないようにして下さい。
18. ローラー、刷毛などの用具は、他の塗料での塗装で使用するとハジキなどの原因になるおそれがありますので、塗装終了後速やかに洗うか、専用でお使い下さい。固着した用具を洗う場合は、ラッカーシンナーで洗浄して下さい。
19. 硬化不良の原因となりますので、指定された希釈剤以外は使用しないで下さい。
20. 施工中は塗料が容器からこぼれないよう注意して下さい。万が一こぼれた場合は、速やかに布をウエスでよく拭き取るか、砂などを散布した後に処理を行なって下さい。
21. 波形の金属屋根に塗装する際は、折れ曲がった形状の部分と継ぎ目部分は、膜が薄くなる傾向がありますので、事前に該当箇所に拾い塗りを施すことで、より長い期間の塗膜保持が期待できます。
22. 屋根に塗装する際、必ず縁切りを行なって下さい。屋根材の重なった部分に塗膜が形成されて詰まった場合、漏水などの原因になりますのでお止め下さい。
23. 粘土瓦、釉薬瓦には塗装しないで下さい。その他、乾式洋瓦などへの塗装の際はご相談下さい。
24. 主剤と硬化剤の混合割合は厳守して下さい。混合割合が不適切な場合、塗膜性能が発揮されず、仕上がりや作業性が低下するおそれがあります。
25. 容器は基本的につり上げないで下さい。止むを得ずつり上げる場合は、安全性が確保された適切なつり器具で垂直につり上げ、落下には十分注意して下さい。(偏荷重になると容器の部品が外れ、落下事故につながる危険性があります。)
26. 汚れや傷などで補修塗装が必要になる場合がありますので、使用塗料と塗装方法の控えを必ずとり、同一塗料、同一方法で補修塗装をして下さい。
27. 塗装後、塗膜のうえに登る際には、十分に乾燥していることを必ず確認して下さい。
28. 塗装後、乾燥塗膜に付着した汚れは石鹸水で洗浄し、洗い流して下さい。

## 使用上の注意

### 〈弱溶剤形塗料の場合〉

引火性の液体で、危険有害性情報のある物質を含有していますので、取扱いには下記の注意事項を守って下さい。

※詳細な内容は、各製品の安全データシート(SDS)をご参照下さい。

#### ●取り扱い上の注意

1. 火器のない局所排気装置を設けたところで使用して下さい。
2. 塗装中、乾燥中は換気をよくし、蒸気を吸い込まないようにして下さい。
3. 取扱中は、皮ふにふれないようにし、必要に応じて下記の保護具を着用して下さい。有機ガス用防毒マスク又は送気マスク、頭巾、保護めがね、長袖の作業衣、えり巻きタオル、保護手袋等。
4. 取扱後は、手洗い及びうがいを十分に行なって下さい。
5. 塗料の付いたウエスや塗料カス、スプレーダストは廃棄するまで水につけておいて下さい。
6. よくフタをし、40℃以下の一定の場所に貯蔵して下さい。
7. 子供の手の届かないところに保管して下さい。
8. 捨てる時は、産業廃棄物として処分して下さい。
9. 本来の用途以外に使用しないで下さい。
10. 容器は垂直に持ち上げて下さい。斜めに持ち上げると取手が外れ、落下事故の危険があります。

#### ●緊急時の処置

1. 火災時には炭酸ガス消火器、泡消火器又は粉末消火器を用いて下さい。
2. 目に入ったときには、多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。
3. 誤って飲み込んだ時には、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。
4. 皮ふに付着した時には、多量の石けん水で洗い落とし、痛みや皮膚に変化等がある場合には、医師の診察を受けて下さい。
5. 蒸気、ガス等を吸込んで気分が悪くなった時には、安静にし、医師の診察を受けて下さい。
6. 容器からこぼれた時には、布で拭きとり、その布を水の入った容器に保管して下さい。 ⑥⑦

### 〈水性塗料の場合〉

取扱いには下記の注意事項を守って下さい。

※詳細な内容は、各製品の安全データシート(SDS)をご参照下さい。

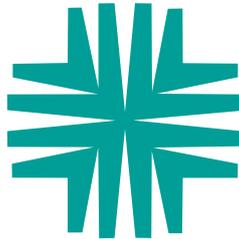
#### ●取り扱い上の注意

1. 取扱後は、手洗い及びうがいを十分に行なって下さい。
2. よくフタをし、一定の場所に貯蔵して下さい。
3. 子供の手の届かないところに保管して下さい。
4. 捨てる時は、産業廃棄物として処分して下さい。
5. 容器は垂直に持ち上げて下さい。斜めに持ち上げると取手が外れ、落下事故の危険があります。

#### ●緊急時の処置

1. 目に入った時には、多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。
2. 誤って飲み込んだ時には、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。
3. 容器からこぼれた時には、砂などを散布した後に処理して下さい。 ①

※本カタログに記載以外の条件で使用される場合は、弊社にお問い合わせ下さい。  
※本製品の内容は予告なく変更することがあります。ご了承下さい。



# DNT 大日本塗料株式会社

## ●東日本販売部

東京営業所 ☎03-5710-4501 ☎144-0052 東京都大田区蒲田5-13-23 (TOKYU REIT 蒲田ビル)  
札幌営業所 ☎011-822-1661 ☎003-0012 札幌市白石区中央二条1-5-1  
仙台営業所 ☎022-236-1020 ☎983-0034 仙台市宮城野区扇町5-6-20  
北関東営業所 ☎0285-24-0123 ☎323-0025 小山市城山町2-10-14 (日光堂ビル)  
埼玉営業所 ☎048-601-0711 ☎330-0843 さいたま市大宮区吉敷町4-261-1  
新潟営業所 ☎025-244-7890 ☎950-0912 新潟市中央区南笹口1-1-54 (日生南笹口ビル)  
千葉営業所 ☎043-225-1721 ☎260-0015 千葉市中央区富士見2-7-5 (富士見ハイネスビル)  
神奈川営業所 ☎042-786-1831 ☎252-0233 神奈川県相模原市中央区鹿沼台1-7-7 (トラス・テック相模原ビル)  
静岡営業所 ☎054-254-5341 ☎420-0857 静岡市葵区御幸町8 (静岡三菱ビル)

## ●西日本販売部

大阪営業所 ☎06-6266-3116 ☎542-0081 大阪市中央区南船場1-18-11 (SRビル長堀)  
名古屋営業所 ☎052-332-1701 ☎460-0022 名古屋市中区金山1-12-14 (金山総合ビル)  
富山営業所 ☎076-451-9470 ☎930-0997 富山市新庄北町5-1  
京滋営業所 ☎075-595-7761 ☎607-8085 京都市山科区竹鼻堂ノ前町46-1 (大樹生命京都山科ビル)  
神戸営業所 ☎078-362-0091 ☎650-0025 神戸市中央区相生町1-2-1 (東成ビル)  
岡山営業所 ☎086-255-0151 ☎700-0034 岡山市北区高柳東町13-5  
広島営業所 ☎082-286-2811 ☎732-0802 広島市南区大州3-4-1  
高松営業所 ☎087-869-2585 ☎761-8075 高松市多肥下町1511-1 (サンフラワー通り東ビル1ビル)  
福岡営業所 ☎092-938-8222 ☎811-2317 福岡県糟屋郡粕屋町長者原東3-10-5  
長崎営業所 ☎095-824-3457 ☎850-0033 長崎市万才町3-4 (長崎ビル)

塗料相談室 フリーダイヤル 0120-98-1716 <sup>いーないる</sup> <https://www.dnt.co.jp/>



地球環境への負荷軽減のために、  
植物油インキを使用しています。